

1. 北海道（地域別調査機関：株式会社北海道二十一世紀総合研究所）

（－：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (北海道)	◎	観光型ホテル（スタッフ）	・5月の予約数も4月同様にやや低調に推移しているものの、6月以降は好調に推移していることから、今後に期待を持てる。
	◎	その他サービスの動向を把握できる者〔フェリー〕（従業員）	・予約状況から今後のインバウンドの増加が見込まれる。コロナ禍が明けたことで、国内旅行客の増加が見込めることもプラスである。
	○	商店街（代表者）	・物価高に賃金の上昇が追い付けば景気は徐々に良くなる。円安の影響で地方においても外国人観光客が増えていることから、円安の間は景気が上向くことを期待できる。
	○	商店街（代表者）	・今後については、中心部の夏祭りや夏休みを直前に控えた時期となるため、若年層の来街者が増加することになる。ビジネス客や道内外からの観光客が増える時期でもあるため、一部の業種を除いて売上はアップすることになる。
	○	一般小売店〔土産〕（経営者）	・今年は賃上げが多く企業の行われていることから、景気が上向くことを期待している。また、外国人観光客について、東南アジアからの入込が多いなか、最近になって欧米からの入込が増加していることもプラスである。
	○	一般小売店〔酒〕（経営者）	・経営環境としては決して良くないが、観光客の入込が増えてくる時期であり、主要客先であるホテルや飲食店の活況が見込まれることから、今後の景気はやや良くなる。
	○	スーパー（店長）	・インバウンドの入込が増えていることに加えて、観光や地域行事が活発になっていることから、今後の需要拡大を期待している。
	○	衣料品専門店（エリア担当）	・例年、商品の販売動向が気温に左右されやすい時期であり、今後、平年並みの気温で推移することになれば、来客数や売上が増加すると期待できる。光熱費の上昇に伴う買い控えの動きが徐々に弱まっていることもプラスである。
	○	家電量販店（経営者）	・エアコンの販売量が順調に伸びていることから、今後も引き続き期待できる。
	○	乗用車販売店（従業員）	・新型車の発表を控えていることから、今後の景気はやや良くなる。
	○	自動車備品販売店（店長）	・今後の経済対策にもよるが、現状の客の購買行動から、今後の景気はやや良くなる。
	○	その他専門店〔医薬品〕（経営者）	・客に対して正しい健康指導を地道に行っていくことで景気が良くなることを期待している。健康食品の問題については、第三者機関が認可を与えるなど、新しい仕組みを導入することを考えてほしい。
	○	高級レストラン（スタッフ）	・当地区では、まだ景気の回復傾向がみられないものの、他地域において、回復傾向がみえつつあることから、今後、当地にもその効果が及んでくることを期待している。
	○	高級レストラン（スタッフ）	・イベントなどの企画により、観光客の入込が増加すると見込まれるため、今後の景気は上向くことになる。
	○	旅行代理店（従業員）	・初夏となり、観光の繁忙期を迎えることから、東南アジアを中心にインバウンドの増加が期待できる。コロナ禍で抑制されていた帰省需要は前年の夏に一気に回復したため、今年も期待できる。今後については、国内客、インバウンド共に、観光需要が伸びることになる。
	○	通信会社（企画担当）	・量販店での販売について、予算や人員も含めて、今まで以上に力を入れる予定であることから、景気が回復することを期待している。
○	観光名所（従業員）	・当地に寄港する大型豪華客船について、秋までは多くの利用が予定されていることから、今後、地域がますますにぎわうことが期待できる。また、国内観光客について、物価高の影響を余り感じさせない積極的な動きがみられることもプラスである。	
□	商店街（代表者）	・現在、北海道は観光の閑散期を迎えており、比較的観光客の少ない時期であるが、インバウンドはますますの入込がみられる。円安が進んでいることもあって、今後の観光シーズンには期待を持てる。	
□	百貨店（販売促進担当）	・物価上昇の影響で生活費の節約志向が顕著になっている。この傾向はしばらくの間続くことになる。	

<input type="checkbox"/>	スーパー（役員）	・輸送コストの上昇、円安に伴う原材料価格の高騰が影響して、食料品の値上げが止まらない。賃上げも行われているが、今後も消費者の節約志向は強いまま変わらない。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（エリア担当）	・消費者の生活スタイルは今後もさほど変わらないとみられるため、景気は変わらない。競合との価格競争が激しくならないかを懸念している。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（エリア担当）	・値上げの動きが続くなか、今後は電気料金の負担も大きくなる。春から賃金が上がるとはいえ、実質賃金が前年比でプラスとなる人はそう多くないとみられるため、今後も景気は変わらない。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（経営者）	・今後も円安傾向が続くとみられるため、景気は変わらない。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（経営者）	・受注できる車種が増え、新型車も発売したが、物価上昇の影響もあって、高額の新車種の売行きが悪い。ただし、車両の生産体制が回復しているため、この先は販売台数が増えてくることになる。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	・高額車両の受注は好調だが、年間の配車枠が決められていることから、今後も大きな変化がないまま推移する。新型車が発売されても、割当台数を売り切ると、新規受注を取れなくなるため、景気は良くも悪くもならない。
<input type="checkbox"/>	住関連専門店（役員）	・客の節約志向が強く、大きく変わるような要素もみられないことから、今後も景気は変わらない。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（経営者）	・円安の進行により、石油製品価格にも影響が出てくるとみられるが、当面、燃料油価格激変緩和対策事業が続くことから、今後も景気は変わらない。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔造花〕（店長）	・今後については、観光シーズンを迎えることになる。例年、観光の動きが活発なほど、売上が落ち込む傾向がみられるため、今後の景気は落ち込むことが懸念される。
<input type="checkbox"/>	高級レストラン（スタッフ）	・売上がじわじわと下がっているなか、この先の輸入食品の値上げも予定されていることから、今後の景気が良くなるとは考えにくい。毎月、原価計算の更新を余儀なくされ、集客や接客に力を入れにくい状況にあることもマイナスである。また、これまで仕入れてたままに産地直送品を使用していたが、物流の2024年問題の影響で輸送コスト上昇や配送への不安が高まることから、生鮮品を利用しづらくなることも懸念される。
<input type="checkbox"/>	観光型ホテル（経営者）	・今後については、インバウンドが多少回復するとみられる。一方、国内客は、物価高や社会保険料の増額、円安などの影響で可処分所得が減少するとみられることから、落ち込むことが懸念される。
<input type="checkbox"/>	旅行代理店（従業員）	・本来であれば、夏は旅行需要の増える時期であるが、インバウンドの増加に伴って、オーバーツーリズムが懸念されることから、国内客の旅行需要が落ち込むことを懸念している。
<input type="checkbox"/>	旅行代理店（従業員）	・円安の影響で、燃油サーチャージの高騰、海外旅行のインフレが進んでいるため、こうした動きがある程度収まらない限り、海外旅行の販売量が上向くとは考えにくい。
<input type="checkbox"/>	旅行代理店（従業員）	・今後については、国内旅行の伸びが見込めるものの、海外旅行への問合せが引き続き少ないことから、全体的なボリュームは変わらないまま推移する。
<input type="checkbox"/>	タクシー運転手	・前年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことをきっかけに人出は増加傾向にあるが、4月のタクシーの売上実績をみる限り、タクシー1台当たりの売上増加は見込めない。5月以降、気温の高い日が多いと見込まれていることもマイナスである。
<input type="checkbox"/>	タクシー運転手	・この先、様々なイベントが予定されているものの、利用者数が増えていくような傾向はみられないことから、今後もほとんど変わらないまま推移する。
<input type="checkbox"/>	タクシー運転手	・今後は閑散期であり、人出も余り期待できないことから、景気は変わらない。
<input type="checkbox"/>	タクシー運転手	・夏は観光シーズンのため、人の動きが増えることを期待しているが、タクシー利用がどの程度増えるかは判断がつかない。ゴールデンウィークの人の流れや単価などの動きを注視している。

□	観光名所（職員）	・パレスチナ問題など、世界情勢の影響が今後出てくることを懸念している。	
□	住宅販売会社（経営者）	・住宅業界においては、原材料価格や人件費の高騰もあって、今後も着工数の増えない状況が続くとみられる。	
▲	商店街（代表者）	・政治の動向を気にしている客が多く、今後も同じような状況が続くことになれば、景気が悪くなることが懸念される。	
▲	一般小売店〔土産〕（経営者）	・前年は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことで旅行者が大きく増加したが、今後は余暇の過ごし方について、旅行以外の行動も選択されるようになってみられる。例えば、前年は旅行したから、今年は家でゆっくり過ごそうという動きが出てくるのが考えられ、今後の旅行需要には一服感が出てくることになる。	
▲	一般小売店（経営者）	・円安の影響がこれから出てくると考えられるため、景気はやや悪くなる。	
▲	百貨店（売場主任）	・新紙幣の発行に伴って、現金が動くことを期待しているものの、円安やパレスチナ問題の影響などで消費が落ち込むことが懸念される。	
▲	スーパー（店長）	・物価高がいまだに続いており、客は価格の安いときにまとめ買いしていることから、今後の景気はやや悪くなる。	
▲	スーパー（店長）	・卵が集客につながる恩恵がなくなったことに加えて、商品の値上げが続いていることもあって、客の買物回数が減っている。そのため、今後の景気はやや悪くなる。	
▲	スーパー（企画担当）	・今年の春闘において、過去にない高い水準での賃上げがみられたが、今後の為替やエネルギー価格の動向などをみない限り、実質賃金がプラスになるかどうかは分からない。現時点で先行きを見通すことは難しい。	
▲	スーパー（企画担当）	・大手企業の賃上げはプラス要因であるが、当地域は中小企業が多く、賃上げを実施している企業はそれほど多くない。また、値上げの品目数は減少しているものの、依然として物価が高騰しており、可処分所得に占める食品への支出割合が高まりつつあることから、今後の景気は下向くことになる。	
▲	コンビニ（エリア担当）	・売上は持ち直しているが、商品価格が上がった影響である。来客数はずっと前年を下回って推移していることから、今後の景気はやや悪くなる。	
▲	コンビニ（エリア担当）	・今後も商品の値上げが続くとみられることから、景気はやや悪くなる。	
▲	家電量販店（店員）	・エアコンの販売は好調が続いているが、それ以外の商品の売行きが余り良くないことから、今後の景気はやや悪くなる。	
▲	乗用車販売店（経営者）	・観光関連以外の業種では、今後も厳しい状況が続くとみられる。特に中小の建設関連企業では、原材料や燃料などの価格高騰を十分に転嫁できず、利益が縮小するとみられる。賃上げも足かせとなることが懸念されるため、今後も厳しい経営環境が続くことになる。	
▲	タクシー運転手	・物価高の影響で客の節約志向が強まることが懸念される。交通費を節約する場合、真っ先にタクシーが対象となるため、今後、業界の厳しさは増すことになる。	
▲	美容室（経営者）	・客との会話で、旅行や食事などの話題が以前よりも減少しており、物価高に対する警戒感が強まっている様子がうかがえる。そのため、今後、景気が急激に上向くとは考えにくい。	
▲	美容室（経営者）	・景気が良くなるような気配が全くない。	
▲	住宅販売会社（従業員）	・建築コストが下がらないなか、金利の上昇に伴って住宅ローン金利が上昇することが懸念される。現在の顧客のボリュームゾーンは20代から30代にかけての共働き世帯であり、そうした客の借入れ限度額に影響が生じることが懸念される。	
×	スーパー（店長）	・円安の影響で今後の景気はやや悪くなる。	
×	衣料品専門店（店長）	・観光客、特にインバウンドの動きが好調なようであるが、先行き不透明な状況のなか、客の購買意欲を上向かせるようなニュースが全くないため、今後の景気は厳しさを増すことになる。	
企業	◎	—	—

動向 関連 (北海道)	○	建設業（経営者）	・新年度が始まったばかりで、全体的な景気がどうなるか読めない部分はあるが、今後、工事の受注が進み、稼働量が上向くことになる。ただし、円安の影響で、燃料などの輸入物価が上昇することが懸念される。	
	○	建設業（役員）	・前年度からの繰越工事と新規受注した工事現場の早期稼働開始により、例年よりも前倒しでの出来高積み上がりが見込める。ただし、円安の影響による建築資材の価格高騰、時間外労働の上限規制によるコストアップなどが懸念材料である。	
	○	輸送業（支店長）	・国内貨物量は、ゴールデンウィーク明けから徐々に増加するとみられる。ただし、現状、それほど忙しくないなかでも、トラックが余っていないことから、貨物量が増加した際に、輸送力不足に陥ることが懸念される。	
	○	金融業（従業員）	・電気・ガス価格激変緩和対策事業が5月使用分で終了する予定であることから、物価や消費行動に影響を与えることが懸念されるものの、賃上げを実施する企業が前年を上回る見通しにあることから、今後、消費者のマインドが改善し、個人消費を押し上げることを期待している。	
	○	司法書士	・4月1日から相続登記が義務化されたことから、今後しばらくの間、相続登記の依頼が増えることになる。	
	○	その他サービス業〔ソフトウェア開発〕（経営者）	・受注単価の上昇と賃上げの効果により、今後の景気はやや良くなる。	
	○	その他サービス業〔建設機械リース〕（営業担当）	・価格の適正化が課題となっているが、現在の社会情勢から、今後、徐々に適正化が進むと期待している。	
	□	食料品製造業（従業員）	・受注量や販売量が増えるような要因がないことから、今後も景気は変わらない。	
	□	食料品製造業（従業員）	・商材の価格改定、内容量の変更から1年が経過し、客に受け入れられてきたとみられることから、今後の景気は好調なまま推移する。	
	□	通信業（営業担当）	・これから観光のハイシーズンを迎えるため、観光客、特にインバウンドの増加による経済的恩恵を期待できる。ただし、原材料価格や人件費の高騰に伴うコスト増がマイナス要因として考えられるため、今後の景気は現状と同じような水準で推移する。	
	□	司法書士	・数か月の期間で考えれば、景気は余り変わらないとみられる。ただし、地方都市においては、人口減少が進んでおり、国や地方自治体が適切な対策を行わない限り、自然減と社会減が続くことになり、長期的な景気は徐々に下向くことになる。	
	□	その他非製造業〔鋼材卸売〕（従業員）	・今現在、動きのある大型案件に携わっている企業は忙しそうだが、それ以外の建築案件がなかなか動き始めない状況にある。そのため、今後しばらくは現状維持で推移するのが精々とみている。	
	▲	金属製品製造業（従業員）	・人口減少が進むなか、今後も物価上昇が続くとみられる。北海道は一次産業も余り良い状況にはないため、景気が悪くなることはあっても良くなることはない。	
	▲	建設業（従業員）	・建設業において、設計や施工に対応可能なボリュームが限られているなか、国策で進められる事業が増えることになれば、設備の取り合いが加速することになる。工事費は高くなり続けるため、経済としてはマイナス方向に進むことになる。	
	▲	広告代理店（従業員）	・円安の動きが止まらないことから、今後、値上げが一層進むことが懸念される。	
	×	農林水産業（経営者）	・前年産のりんごの総量が少なく、4月一杯で在庫がほとんどなくなるとみられることから、今後の景気は悪くなる。	
	雇用 関連 (北海道)	◎	—	—
		○	*	*
□		人材派遣会社（社員）	・今後も、企業の採用ニーズの強い状況が続くとみられる。企業では、採用のハードルを下げるかどうかを検討しているようだが、採用のハードルを下げて、必ずしも定着率の向上につながるわけではないため、人事部門では不安を感じている。	

<input type="checkbox"/>	求人情報誌製作会社（編集者）	・農業、畜産、酪農などの1次産業が主体の地域であり、円安の影響で飼料や肥料などの輸入品の価格が上昇することを懸念している。人手不足もあいまって、今後の景気は現状と同じような水準で推移することになる。
<input type="checkbox"/>	求人情報誌製作会社（編集者）	・前年5月以降、求人件数が減少傾向で推移している。増加傾向に転じるような明るい材料も少ないため、しばらくは現状と変わらないまま推移する。
<input type="checkbox"/>	求人情報誌製作会社（編集者）	・海外との商取引を行っている企業においては、円安の恩恵があると考えられるものの、地元の中小企業にそうした恩恵は余りないとみられる。むしろ、物価高などのマイナスの影響が大きくなるとみられる。
<input type="checkbox"/>	求人情報誌製作会社（編集者）	・9月に大型スーパーの開店が予定されていること、インバウンドの回復による観光業界の活性化など、明るい材料もあるものの、苦しい経営環境にある業界が多い状況は今後も変わらない。
<input type="checkbox"/>	職業安定所（職員）	・有効求職者及び新規求職者数が減少している。求人数は増加しているものの、前年からの反動が要因と考えられるため、求人数の増加が景気回復につながっているとはいえない状況にある。
<input type="checkbox"/>	職業安定所（職員）	・当地における月間有効求人数は12か月連続で前年を下回っている。ただし、産業、業種によってその度合いは異なっており、今後の物価、経済活動、消費行動の状況によっては先を見通せない状態となることも懸念される。
<input type="checkbox"/>	学校〔大学〕（就職担当）	・物価と賃金の好循環が実現すれば、景気が上向くことも考えられるものの、現状から、そこまでの変化は考えにくいいため、今後も景気は変わらない。
<input checked="" type="checkbox"/>	*	*
<input type="checkbox"/>	—	—